

# 1 単元のデザイン

## 単元について

本単元は、戦乱の世が統一され、幕府の統制により、武士による政治が安定したことや、それにより町人の文化が栄え、新しい学問が興ったことを理解することをねらいとしている。

幕府は、大名や武士に対する政策、農民に対する政策、外国に対する政策を行うことで、世の中を支配・統制していた。そのため、この時代はたくさんの制限があり、厳しく自由のない時代であったという見方もある。

一方で、幕府の力が強く、戦国時代や室町時代とは異なり、争いが起きなかったため、社会自体は安定していた。そのため、農業を工夫して行う百姓や経済力をつけた町人、寺子屋で学ぶ子供たちなども見られるようになった。そのため、文化の栄えた安定した平和な時代であったという見方もできる。「江戸時代」を多面的に捉えることができる単元である。

## 児童について

本学級の児童は、社会科の学習が好きだという児童が多く、意欲的に学習に取り組むことができている。しかし、歴史学習に苦手意識を感じている児童もおり、理由として「登場人物が多く理解しにくい」「言葉が難しい」と答えた児童が多かった。

これまでに児童は、資料を読み取り、それらを根拠として帰納的に思考したり、これまで学習してきた時代と関連付けて、時代の特徴を捉えたりする学習を進めてきた。しかし、資料から必要な情報を読み取ることができない児童や、既習内容を根拠として述べるできない児童が約37%いる。

江戸時代は、学習すべき人物や出来事が多くある。そのため、児童がただ暗記するだけの学習にならないよう、これまでの時代と比較させたり、文化と人々のくらしや幕府の政策を関連付けさせたりしながら学習を進めていく必要がある。

## 本気で考え、学びを深める指導の手立て

本単元の指導に当たっては、「課題の設定」で他の武家政権時代と比較し、江戸時代が長く続いたという事実から、「なぜ江戸時代は265年も続いたのだろうか。」という中心課題を設定する。今までに学習した時代と比較しながら、その理由を予想させ、学習の見通しをもたせる。

「課題の追求」では、「課題の設定」で児童が立てた予想を解決しながら進めていく。江戸幕府の行った政策の意図を、「武士や大名」「百姓たち」「外国」という視点で捉えさせることを通して、幕府が強い力をもって国全体を支配していたことに気付かせる。その後、百姓たちのくらしに視点をしぼり、さらに詳しく調べさせる。その中で、百姓たちの生き生きとしたくらしぶりや、町人中心の新しい文化が生まれたという事実に出合わせ、これまでの江戸時代の見方とのずれを引き出す。

「学びの深化」では、他の時代で栄えた文化と比較させながら江戸時代の文化の特徴を捉えさせ、「なぜ、江戸時代の百姓や町人は、文化や学問を楽しむことができたのだろうか。」という学習課題を設定する。平安時代や安土桃山時代などの文化の特徴と、江戸時代の人々のくらしを関連付けたり総合的に考えさせたりすることで、江戸時代は安定した世の中であったことや、百姓や町人が工夫して生活のゆとりを生み出していたことを捉えさせる。

「まとめ・振り返り」では、「なぜ、こんなに安定していた江戸時代が終わりを迎えたのだろうか。」という発問を行い、これまでの時代と本単元での学びを関連付けながら、今後の時代の流れを予想させるようにし、次の単元への意欲を高めることができるようにする。

## 本単元の目標

知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
<ul style="list-style-type: none"> <li>参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制を手掛かりに、武士による政治が安定したことを理解している。</li> <li>江戸幕府の政治が安定していたことから、人々の生活にゆとりが生まれ、歌舞伎などの町人の文化や国学などの新しい文化が興ったことを理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>江戸幕府の政策の意図や社会の様子を、関連付けたり総合したりして考え、江戸時代の特徴を捉えている。</li> <li>江戸時代の人々のくらしや様子を、資料を活用して調べたり、文化と関連付けて考えたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>江戸時代の特徴を捉えるために、意欲的に資料を調べたり、既習内容と関連付けたりして、主体的に学習に取り組もうとしている。</li> </ul>

## 2 単元構想図（単元計画と評価）

### 本単元の学習の流れ（全 10 時間）

#### 課題の設定（1）

- 他の時代と比較して、江戸時代が 265 年間も続いた理由を予想させ、学習計画を立てる。  
【学】これまでの時代と比較し、江戸時代が長く続いた理由を予想している。

#### 課題の追求（7）

- 江戸幕府が行った、武士や大名に対する政策の意図を考える。  
【思】大名達に力をつけさせないための政策であることを捉えている。
- 江戸幕府が行った、百姓や町人等に対する政策の意図を考える。  
【思】百姓達の力をおさえ、武士の力を示す目的があることを捉えている。
- 江戸幕府による、外国に対する政策の意図を考える。  
【思】幕府の考えと異なるキリスト教の考えをおさえる意図を捉えている。
- 徳川幕府が目指した世の中についてまとめる。  
【思】徳川幕府が目指した国を、今までに捉えた幕府の政策とその意図を関連付けてまとめている。
- 百姓や町人の生活の工夫を調べ、まとめる。  
【知】農業技術が進み、百姓達のくらしが豊かになってきたことを理解している。
- 江戸時代の人々がどのような文化を楽しんでいたか調べる。  
【知】当時の人々が親しんでいた文化を調べ、まとめている。
- この時代に新しく興った学問について理解する。  
【知】江戸時代に興った学問について理解している。

#### 学びの深化（1）

- 江戸時代の文化と人々のくらしを関連付けることを通して、江戸時代の特徴を捉える。  
【思】江戸時代に百姓や町人が文化や学問を楽しむことができた理由を考えることを通して、江戸時代は安定した世の中であったことを捉えている。

本時 9 / 10

#### まとめ・振り返り（1）

- これからの時代がどのように変わっていくのか話し合う。  
【学】これまでの学習内容と本単元の学びを関連付けて、これからの時代の流れを意欲的に予想している。

### 見方・考え方を働かせる工夫

#### 【課題の設定】

##### 資料提示の工夫 対比型

- 時代ごとに色分けした年表を提示し、江戸時代とその他の武家政権（鎌倉、室町、安土桃山時代）の長さを比較させる。そこから、学習課題「なぜ、江戸時代は長く続いたのだろう。」を設定し、その理由を予想させ、学習計画を立てる。

#### 【課題の追求】

##### 問いの工夫 関係的・理由や根拠を考えさせる

- 「江戸幕府は、なぜ～を行ったのか。」と問うことで、学習課題と資料や既習内容を関連付けながら、江戸幕府の政策の意図について考えさせる。

##### 問いの工夫 判断させる

- 「江戸幕府はどのような世の中にしようとしていたのか。」と問い、江戸幕府の政策やその影響等を図に整理しながらまとめることを通して、江戸時代の特徴の一つである、「幕府の統制力が強かった時代である」ことを捉えさせる。

#### 【学びの深化】

##### 資料提示の工夫 対比型

- 江戸時代と安土桃山時代の文化を、中心地や文化の担い手等の視点でまとめた資料を提示し、比較させることで、江戸時代には文化の担い手が民衆に広がったことを導き出させる。

##### 学習活動の工夫 多角的に考えさせる

- 既習内容を活用して、学習課題に対する理由を考えさせる。百姓と町人の二つの立場で考えさせることで、理由は異なるがそれぞれの立場で生活の余裕が生まれていたことに気付かせる。

### 3 本時の展開

#### 本時の目標

江戸時代の文化と人々のくらしを関連付けて考えることを通して、江戸時代の特徴を捉えることができる。

#### 本時の評価

評価規準	江戸時代に百姓や町人が文化や学問を楽しむことができた理由を考えることを通して、江戸時代は安定した世の中であったことを捉えている。
概ね満足できる児童の状況	これまでは、江戸時代は徳川家に支配された時代で、人々は苦しい生活を送っていたと思っていたけれど、今日の学習で、幕府の強力な支配があった中でも、町人や百姓は様々な工夫をし、平和で安定した生活を送っていた時代だということが分かった。

#### 学習過程

展開	主な学習活動と予想される児童の思考	形態	教師の働きかけ ◎評価規準 ◇配慮を要する児童への手立て
つかむ	1 江戸時代の文化の特徴を発表する。(6分) 江戸時代と安土桃山時代の文化を比べると、江戸時代の文化にはどのような特徴がありますか。 ・文化の担い手が武士から町人になっています。 ・娯楽や遊びのようなものが多く、生き生きしています。 ・学問が発展しています。	全体	<b>見方・考え方を働かせる指導の工夫</b> <b>資料提示の工夫 対比型</b> ・江戸時代と安土桃山時代の文化を、中心地や文化の担い手等の視点でまとめた資料を提示し、比較させることで、江戸時代には文化の担い手が民衆に広がったことを導き出させる。
	2 本時の課題を設定する。(2分) <b>学習課題</b> なぜ江戸時代の百姓や町人は文化や学問を楽しむことができたのだろうか。	↓	
深め・拡げる	3 平安時代の文化と比較して考える。(5分) ・平安時代の文化と江戸時代の文化の似ているところは、楽しめる文化だということです。 ・同じように遊びの文化が多いと思います。 ・平安時代の貴族は、時間も生活もゆとりがあったので、遊びの文化が発展したと思います。	全体	・江戸時代と平安時代の文化と比較させ、文化の担い手は異なるが、江戸時代も平安時代と同様に娯楽や人々が楽しむ文化が発展していたことを確認する。 ・掲示物を活用して、貴族の生活を想起させ、文化を楽しむためには、生活や時間にゆとりがあることが大切であることを押さえる。 ・江戸幕府による統制の仕組みを想起させたくうえで、民衆のゆとりある生活という事実気付かせることにより、統制と人々のゆとりある生活というずれを感じさせる。

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">深め・拡げる</p>	<p>4 江戸時代の百姓や町人に生活の余裕があった理由を考える。(13分)</p> <p>&lt;町人&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>他の身分の人たちよりも税が軽かったからだと思います。</li> <li>道路や航路が発達し、加工して製品を各地で売るなどの工夫をして商売が栄えたからだと思います。</li> <li>参勤交代で多くの人が江戸に来たり、売り方を工夫したりすることで、経済的にも豊かになったからだと思います。</li> </ul> <p>&lt;百姓&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>農具を発明して、速く楽に農作業が出来るようになり、時間の余裕もうまれたと思います。</li> <li>商品作物を作って、収入を増やしたと思います。</li> <li>耕地面積も増えているので、収穫量も増えたからだと思います。</li> </ul>	<p>グループ</p> <p>↓</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>見方・考え方を働かせる指導の工夫</b></p> <p><b>学習活動の工夫 多角的に考えさせる</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>既習内容を活用して、学習課題に対する理由を考えさせる。百姓と町人の二つの立場で考えさせることで、理由は異なるがそれぞれの立場で生活に余裕が生まれていたことに気付かせる。</li> </ul> </div> <p>◇グループ活動を設定することで、友達と話をしながら自分の考えがもてるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>幕府による制限がある中で、百姓や町人がたくさん工夫をして生活をしていたことに気付かせる。</li> </ul>
	<p>／</p>	<p>5 考えを交流する。(12分)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>江戸時代に生活の余裕が生まれたのは、戦争がなかったからだと思います。そのために、百姓は農業に専念することができ、生産力が高まったと思います。</li> <li>争いがなかったことで、道路や海路などが整備され、経済が発展して余裕が生まれたと思います。</li> </ul>	<p>全体</p> <p>↓</p>
<p>まとめ・つなげる</p>	<p>6 これまで考えていた「江戸時代」を捉え直し、図にまとめる。(5分)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>学びを深めた姿</b></p> <p>これまでは、江戸時代は徳川家に支配された時代で、人々は苦しい生活を送っていたと思っていたけれど、今日の学習で、幕府の強力な支配があった中でも、町人や百姓は様々な工夫をし、平和で安定した生活を送っていた時代だということが分かった。</p> </div>	<p>個人</p> <p>↓</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>前時まで「江戸時代はどのような時代か」をまとめたワークシートを活用し、本時の学習での学びを加筆・修正させる。</li> </ul> <p>◎江戸時代に百姓や町人が文化や学問を楽しむことができた理由を考えることを通して、江戸時代は安定した世の中であったことを捉えることができる。(ワークシートの記述内容)</p>
	<p>7 次時の予告をする。(2分)</p>	<p>全体</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>次時では、なぜ江戸時代が終わりを迎えることになったのか、学習した時代の流れを基に考えていくことを伝え、次時への意欲をもたせる。</li> </ul>

# 本時の板書計画

9/12(金)江戸時代ってどんな時代?

学習課題

なぜ江戸時代の百姓や町人は、文化や学問を楽しむことができたのだろう。

